

担当地区：豊一・豊二・佐井寺

かわた ひさし
川田 尚

建設環境常任委員会 [委員]
議会運営委員会 [委員]

Q 江坂駅周辺地区における浸水対策の現状を問う

本市では1時間で50ミリの降雨を想定した浸水対策を実施しているが、近年では国内各地で豪雨による浸水被害が多発している感がある。そこで、住宅地だけでなく、商業施設等が高度に集積し地下空間も多い江坂駅周辺地区における現状を聞きたい。

A 下水道部長 答弁

当該地区では平成16年度から浸水対策を実施し、同21年には25mプール約50杯分の雨水貯留施設の共用を開始した等、被害の軽減に効果があると考えている。

意見：時間雨量 50 ミリ超の降雨が頻発している。将来に安心を求める対策の検討を要望する。



担当地区：吹二・千一・岸一・岸二・東佐井寺

いぬい さとし
乾 詮

財政総務常任委員会 [委員]
議会運営委員会 [委員]

Q 福祉避難所に避難するまでの人的支援や物的支援について問う

障がいのある方々が福祉避難所へ避難されるまでの間に、必要な人的支援や物的支援についてどのような対応を準備しているのか。

A 危機管理監 答弁

優先的に避難スペースを確保し、食料や生活必需品等を速やかに提供。必要に応じ専門的知識を有する支援者を派遣できる連携体制の構築に努めている。指定避難所での避難生活が長引く場合、必要な物資の調達、配付や、医療福祉に係る人的支援を積極的に行う。

A 福祉部長 答弁

要援護者と支援者の関係づくりと物的支援を検討し福祉避難所への避難体制の確立に努める。

意見：災害発生時に誰一人取り残さない対応に努めることを要望する。



担当地区：千三・千里新田・江坂大池

いまし よしじ
今西 洋治

建設環境常任委員会 [委員]

Q 資源循環エネルギーセンターの有効利用に植物工場を運営してはどうか？

資源循環エネルギーセンターはごみ焼却で発電しているがCO2も発生している。植物工場を運営し電力とCO2を利用してはどうか？CO2を栽培で利用することは本当の意味でゼロカーボンシティ達成に貢献できる。本市の見解を問う。

A 環境部長 答弁

熱源や電力の有効利用に用地の確保が難しいがCO2に関しては分離回収技術が大学や民間企業で研究されている。動向を注視し調査研究をする。

意見：収益化ができれば市の財政を潤すことができる。前向きに研究を。



担当地区：佐竹台・高野台・津雲台・桃山台・千里たけみ

はやし やすひる
林 恭広

建設環境常任委員会 [副委員長]

Q 千里南公園整備に住民意見を反映し、柔軟な対応を求める

一部、高価な園路整備や不十分な工事が行われている事について教えてください。また、他の公園における魅力向上事業が大幅に遅れている中、事業を前倒しとするために住民や利用者へ意見を聞くべきでは？

A 土木部長 答弁

園路整備はメインストリートを重点的・旧トイレ跡地はビュースポットとして整備。また、事業は全体スケジュールに基づき進め、現時点では意見を聞く予定はないが、必要に応じて調整する。

意見：住民や利用者の声を早期に反映すべき！スケジュールに固執し柔軟性を欠いていると、中途半端な結果に終わるのではと懸念する。



担当地区：吹二・山手・片山・岸一・岸二

いぐち なおみ
井口 直美

健康福祉常任委員会 [委員]
議会運営委員会 [委員]

Q 二十歳を祝う式典のゲスト選定の透明性を求める！

昨年の二十歳を祝う式典の特別ゲストは市長のご息が所属するお笑いコンビだったが、中身の無い内容で残念だった等の感想が寄せられている。また税金の使い方としても疑念が残る。もし令和6年度も実行委員会が同じゲストを希望したら市はどのように対応するのか？

A 地域教育部長 答弁

本市の青少年に夢と希望を与えられる式典となるよう進めていく。

意見：未来と夢を与える演目はもちろん、税金の使い方に疑念が持たれないゲストを選ぶ事を強く要望する。



担当地区：豊一・千二・吹田南

はしもと じゅん
橋本 潤

文教市民常任委員会 [委員]

Q 特別職の人数を減らし、財源確保を！

特別職の兼務により人員を削減し、財源を確保できるのではないかと。水道事業は機能しているものの、水道部長と水道事業管理者（特別職）の役割を見直す時期に来ていると考える。市長が水道事業管理者を兼務することを提案する。

A 市長 答弁

水道事業管理者は法的に設置が原則だが、部長も市の運営に重要であり、双方の役割分担が不明確なため、今後の組織の在り方や、法改正を検討する必要がある。

意見：現任管理者の任期が満了後の兼務を求む



担当地区：吹一・吹六・吹三・吹田東

たかむら まさとし
高村 将敏

財政総務常任委員会 [委員]

Q 本市の更なる情報セキュリティ強化の取り組みの実施を求む！

本市が直接雇用しない職員(委託業者等)に対して、個人情報に限らず、全ての情報資産のセキュリティについて、定期的に研修など学習機会を提供すべき。

A 行政経営部長 答弁

委託事業者における従業員への研修・教育の実施状況を、各所管が適切に監視・監督し、情報セキュリティ監査によってその確認を行っている。

意見：市民の大切な情報を守るために、本市の従事者全員が情報セキュリティに関する解像度を高める取り組みを求む。



担当地区：藤白台・古江台・青山台

ごとう くみこ
後藤 久美子

文教市民常任委員会 [委員]

Q 停電時及び災害時の避難所設置基準と情報提供の重要性

災害時に指定避難所を設置する際の具体的な判断基準はどのように定められているのか、基準を明確にお示し願います。また、停電時の対応についてもご説明をお願い致します。

A 危機管理監 答弁

震度6弱以上の地震の際は避難所が自動的に開設する。震度5強以下の地震や風水害時等は被害状況に応じて避難所の開設を決定する。

意見：避難所設置基準の明確化と SNS 発信など迅速な情報提供を求める。



担当地区：南山田・東山田・山二・千里丘北

えぐち れいしろう
江口 礼四郎

財政総務常任委員会 [副委員長]

Q 大規模災害時に、他機関（水防事務組合）と更なる連携強化を

吹田市地域防災計画では、水害発生時、本市で一番危険な区域となる河川沿いの水防活動を、他機関である淀川右岸水防事務組合が担当することになっている。強固な連携で対応していかなければならない。連携強化するために市の職員が事務組合に参画してはどうか。

A 危機管理監 答弁

これまでの実働型訓練の継続に加え、平時より危機管理センターでの情報活動訓練や水防対応に係る研修会の実施など、共に取り組めるよう働きかけるなど、連携強化を図る。

意見：連携強化に期待。他機関と連携し災害に強い体制作りを求む。

